2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上 場 会 社 名	クニミネ工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	5388	URL	https://www.kunimine.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	友山　貴之
問合せ先責任者	（役職名） 管理部長	（氏名）	長坂　裕樹　(TEL) 03(3866)7256
半期報告書提出予定日	2026年11月６日	配当支払開始予定日	2026年11月26日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：有　（　アナリスト・マスコミ向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	8,602	11.5	768	66.8	909	56.5	588	39.9
2026年３月期中間期	7,712	4.7	461	△0.1	581	△0.1	420	12.3

（注）包括利益　2027年３月期中間期　719百万円（ 540.3%）　2026年３月期中間期　112百万円（△80.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	48.34	―
2026年３月期中間期	34.56	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	26,904	23,558	84.1
2026年３月期	26,844	23,143	83.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　22,628百万円　2026年３月期　22,270百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	15.00	―	25.00	40.00
2027年３月期	―	15.00			
2027年３月期(予想)			―	25.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	5.4	1,900	18.6	2,200	12.6	1,450	8.1	119.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	14,450,000株	2026年３月期	14,450,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,271,657株	2026年３月期	2,271,648株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	12,178,347株	2026年３月期中間期	12,178,484株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 1
（１）経営成績に関する説明 …… 1
（２）財政状態に関する説明 …… 1
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間の当社グループを取り巻く環境は、中東情勢の悪化によるエネルギー価格の上昇や自然災害の影響を受けつつも、賃上げや高水準の企業収益を背景とした底堅い設備投資が景気を下支えし、総じて緩やかな回復基調となりました。鉱工業生産は、中東情勢の影響により化学分野など一部の業種に弱い動きがみられたものの、主力の自動車産業においては、自動車税の環境性能割の廃止や新型車投入の効果もあり、４月以降販売台数が増加するなど、全体としては持ち直しの動きが続きました。一方、世界経済においては、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の上昇に加え、さらなるインフレや金融市場の不安定化が懸念されるなど、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは、高付加価値製品・サービスの提案、適切な価格改定などの販売活動を強化するとともに、より一層のコストダウンへの取り組みを進めることで、収益確保に向けて注力してまいりました。今後も、原材料費や物流費等のコスト上昇は継続するとみられ、予断を許さない状況が続いておりますが、引き続き製品・サービスの高付加価値化、販売価格の適正化、原価低減に取り組むとともに、意思決定の迅速化や管理業務の効率化等を推進し収益の改善を図ってまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高は8,602百万円(前年同期比11.5%増)、営業利益は768百万円(同66.8%増)、経常利益は909百万円(同56.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は588百万円（同39.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

素形材分野は、主に乗用車やトラック関係の需要が堅調に推移したことにより、増収となりました。環境建設分野は低レベル放射性廃棄物処分向けの出荷が後ろ倒しとなった一方で、一般土木工事の需要が回復したこと等により、増収となりました。ペット関連分野は若干の減収となりました。利益面では、特に素形材分野における輸入原鉱の調達コスト上昇による影響が大きく、ベントナイト事業全体としては減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6,076百万円(前年同期比 5.9%増)、セグメント利益は557百万円(同 16.5%減)となりました。

② クレイサイエンス事業

一般工業用途においては、国内外向け需要が当初見込みより堅調に推移したほか、化粧品・日用品分野向けの需要が伸長したことにより、増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,003百万円(前年同期比 13.6%増)、セグメント利益195百万円(同 140.6%増)となりました。

③ アグリ事業

農薬市場が堅調に推移する中、殺虫・殺菌剤および除草剤の受注が期初計画を上回ったことにより、大幅な増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は1,523百万円(前年同期比 39.4%増)、セグメント利益は299百万円(同818.9%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

流動資産は前連結会計年度末に比べ669百万円減少し18,355百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品が805百万円増加したものの現金及び預金が1,198百万円減少したこと及び保有していた有価証券の償還によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ729百万円増加し8,548百万円となりました。これは主に機械装置等の新規取得により有形固定資産が381百万円、投資有価証券の取得により投資その他の資産が412百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、26,904百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ354百万円減少し、3,345百万円となりました。これは主に未払金が143百万円、未払法人税等が184百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ414百万円増加し、23,558百万円となりました。これは主に利益剰余金が284百万円、為替換算調整勘定が62百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、当中間連結会計期間の実績および今後の見通しを勘案し、前回発表（2026年５月８日）の業績予想を修正しております。なお、当該予想に関しましては、2026年９月16日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,573,429	8,374,747
受取手形	13,855	－
電子記録債権	1,469,211	1,274,748
売掛金	2,759,481	2,736,393
有価証券	475,771	－
商品及び製品	696,040	704,875
仕掛品	558,790	719,527
原材料及び貯蔵品	1,668,877	2,474,110
短期貸付金	1,750,742	1,849,630
その他	59,421	221,877
貸倒引当金	△86	△44
流動資産合計	19,025,534	18,355,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,902,707	1,926,614
機械装置及び運搬具（純額）	1,491,164	1,773,221
土地	1,874,876	1,875,091
リース資産（純額）	30,384	55,149
建設仮勘定	405,176	434,300
その他（純額）	132,930	153,975
有形固定資産合計	5,837,239	6,218,353
無形固定資産	632,868	568,614
投資その他の資産	1,348,942	1,761,702
固定資産合計	7,819,050	8,548,670
資産合計	26,844,585	26,904,537
負債の部		
流動負債		
買掛金	862,449	1,017,315
未払金	976,658	833,649
未払法人税等	360,936	176,698
賞与引当金	164,743	179,219
その他	100,812	103,660
流動負債合計	2,465,599	2,310,544
固定負債		
リース債務	14,540	45,502
退職給付に係る負債	20,166	20,986
閉山費用引当金	656,113	668,098
資産除去債務	23,494	23,494
その他	520,805	277,314
固定負債合計	1,235,120	1,035,396
負債合計	3,700,719	3,345,940

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	3,672,201	3,672,201
利益剰余金	18,429,838	18,714,111
自己株式	△2,091,928	△2,091,940
株主資本合計	21,627,910	21,912,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,214	157,839
為替換算調整勘定	496,258	558,960
その他の包括利益累計額合計	642,472	716,800
非支配株主持分	873,482	929,624
純資産合計	23,143,865	23,558,597
負債純資産合計	26,844,585	26,904,537

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	7,712,663	8,602,615
売上原価	5,570,674	6,071,019
売上総利益	2,141,988	2,531,596
販売費及び一般管理費	1,680,952	1,762,805
営業利益	461,036	768,790
営業外収益		
受取利息	40,072	50,727
受取配当金	73,586	93,213
その他	18,588	12,985
営業外収益合計	132,247	156,925
営業外費用		
支払利息	1,932	1,863
コミットメントフィー	1,253	1,257
為替差損	5,930	6,229
保険解約損	2,732	－
解決金	－	4,111
その他	124	2,305
営業外費用合計	11,973	15,768
経常利益	581,311	909,948
特別利益		
固定資産売却益	199	－
投資有価証券売却益	183,243	－
特別利益合計	183,443	－
特別損失		
固定資産売却損	－	5,583
固定資産除却損	48,853	14,587
特別損失合計	48,853	20,171
税金等調整前中間純利益	715,901	889,776
法人税、住民税及び事業税	189,520	177,060
過年度法人税等	51,366	－
法人税等調整額	27,180	90,825
法人税等合計	268,068	267,886
中間純利益	447,833	621,890
非支配株主に帰属する中間純利益	26,934	33,159
親会社株主に帰属する中間純利益	420,898	588,731

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	447,833	621,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129,861	11,625
為替換算調整勘定	△205,645	85,685
その他の包括利益合計	△335,506	97,310
中間包括利益	112,326	719,201
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	147,212	663,059
非支配株主に係る中間包括利益	△34,886	56,141

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書関係）

中間連結会計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	408,176千円	429,387千円

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ベントナイト事業	クレイサイエンス事業	アグリ事業	合計		
売上高						
素形材	3,455,319	―	―	3,455,319	―	3,455,319
環境建設	1,855,211	―	―	1,855,211	―	1,855,211
ペット	426,194	―	―	426,194	―	426,194
クレイサイエンス	―	883,075	―	883,075	―	883,075
アグリ	―	―	1,092,863	1,092,863	―	1,092,863
顧客との契約から生じる収益	5,736,725	883,075	1,092,863	7,712,663	―	7,712,663
外部顧客への売上高	5,736,725	883,075	1,092,863	7,712,663	―	7,712,663
セグメント間の内部売上高又は振替高	53,430	52,695	―	106,126	△106,126	―
計	5,790,155	935,771	1,092,863	7,818,789	△106,126	7,712,663
セグメント利益	668,289	81,092	32,586	781,969	△320,932	461,036

（注）１．セグメント利益の調整額△320,932千円には、セグメント間取引消去△189千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△303,345千円及び棚卸資産の調整額△17,397千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	ベントナイト事業	クレイサイエンス事業	アグリ事業	合計		
売上高						
素形材	3,734,675	―	―	3,734,675	―	3,734,675
環境建設	1,925,578	―	―	1,925,578	―	1,925,578
ペット	416,162	―	―	416,162	―	416,162
クレイサイエンス	―	1,003,116	―	1,003,116	―	1,003,116
アグリ	―	―	1,523,084	1,523,084	―	1,523,084
顧客との契約から生じる収益	6,076,415	1,003,116	1,523,084	8,602,615	―	8,602,615
外部顧客への売上高	6,076,415	1,003,116	1,523,084	8,602,615	―	8,602,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,927	52,845	―	109,773	△109,773	―
計	6,133,343	1,055,961	1,523,084	8,712,389	△109,773	8,602,615
セグメント利益	557,793	195,076	299,427	1,052,297	△283,507	768,790

（注）１．セグメント利益の調整額△283,507千円には、セグメント間取引消去69千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△307,489千円及び棚卸資産の調整額23,912千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。